

# 社協だより

## 「ひまわり」



### 第53号

津奈木町社会福祉協議会

(津奈木町農業就業改善センター内)

TEL 61 - 2940

FAX 61 - 2941

健康と生きがいづくりを合言葉に津奈木町老人クラブ連合会では、毎年いきいき大会を開催しています。このいきいき大会は老人クラブが主催となり一年ごとに運動会と演芸を交互に行っています。今年は6月29日にB&G体育館で運動会が行われ、第22回を数えました。普段なかなか会えない人たちと久しぶりに顔を合わせて、「元気ね。どげんしとつとね?」とあいさつを交わされています。また、競技につきましても、皆さん真剣に取り組まれていて、時には笑いを誘う姿もあり、楽しい時間を過ごすことができました。今回の大会もご協力いただきましたました役場ほけん福祉課様、民生委員児童委員協議会様には、大変お世話になりました。

## 第22回 いきいき大会 津奈木町老人クラブ連合会



B&G 体育館での競技の様子

**ご寄付**

**ありがとうございました。**

津奈木町社会福祉協議会へ、社会福祉に役立て欲しいと、左記のとおり心温まる香典返しをいただきました。皆様のご厚意に對しまして深く感謝申し上げますと共に、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

受付件数 20件

寄付総額 520,870円

平成30年4月1日

平成30年8月31日

**赤い羽根共同募金のお願い**

共同募金事業(赤い羽根運動、歳末助け合い運動)が10月より展開されます。これは津奈木町の皆様の温かいご支援によって支えられています。皆様からお預かりした募金は、地域のさまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために役立たせていただきます。今後ともご支援よろしくお願いたします。

地域の見守り活動支援事業  
平成30年度実績報告

公民館開放

染竹、浜崎、町中

古中尾、福浦、平国上

平国下、日当 8地区

サロン活動

染竹2ヶ所、浜崎2ヶ所

新川、中尾、内野、福浦

6地区8ヶ所

ボランティア活動

竹中、桜戸 2地区

見守り活動

浜崎、新川、大泊、福浦

日当、小津奈木 6地区

防災活動

竹中、桜戸、福浦

3地区



竹中、染竹、浜崎、桜戸合同防災訓練

平成30年度も公民館を利用して楽しい活動が開催されています。公民館に集まって体を動かしたり、おしゃべりしたり、趣味を楽しんだり地区で交流を楽しみましょう。

担当 福山 村上



平国上、下公民館開放



染竹公民館開放

水俣病発生地域リハビリテーション強化等支援事業  
「たっしやか塾」募集

たっしやか塾も9年目を迎え、11月予定のリニューアルに伴い、新規利用者を20名程度、募集します。

利用者の対象は平国・福浦地区となります。対象年齢は65歳以上です。

最近、運動不足を感じている方や、健康的にダイエットをしたい方の応募をお待ちしております。

週一回の利用になりますが、いい汗を流しましょう。



ヘルパーさん  
大募集！

私たちと一緒に働きませんか！  
楽しい職場ですよ

職員紹介

芝原・松田まで  
電話 61-2940



4月1日付で入職した事務職員の田中裕二と申します。これまで薩摩川内市の特別養護老人ホームで生活相談員をしておりました。地域福祉の発展に繋がるよう活動していきたいと思えます。よろしくお願ひします。



7月23日付で入職致しました坂川 恵と申します。生活困窮と権利擁護を担当させて頂きます。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



## 災害ボランティアセンター

### 養成講座開催!!

7/22(日)、8/26(日)

に第1回、第2回災害ボラ

ンティアサポーター養成講

座を開催しました。災害ボ

ランティアは、1995年

の阪神・淡路大震災より注

目されるようになりました。

当時は137万人を超え

ボランティアが活動し、の

ちに「ボランティア元年」

とも呼ばれるようになりました

ですが、当時はボランティア

を受け入れる組織もしく

みもなく、その場で試行錯

誤しながら被災者のニーズ

に対応していました。その

後も大きな災害が起きたた

びに、被災地にボランティア

が集まるのが一般的と

なり、効果的な支援の受け

皿を作ろうと、地域に根差

した社会福祉協議会が災害

ボランティアセンター運営

を担うしくみが広がりました。

この津奈木町でもいつ

災害が起こるか分からない

現状で、日ごろからの備

えや助け合いのしくみを

作ることが急務と考えま

す。また災害が起きた後

には、一番支えとなつてもら

うのは、全国からのボラン

ティアの力ではないかと

思います。そこで、今回社

会福祉協議会でも、養成講

座を企画したところです。

7/22に行いました第

1回の講座では、県ボラン

ティアセンター 藤本所

長より災害ボランティア

の意義、そして災害が起こ

った時、他者にどのような

助けを求めると言われた

受援力の必要性を説かれ

島様からは、実際の被災し

た体験をもとに、日ごろの

支えあいやつながりの大

切さを話していただきました

した。また、8/26の第2

回目は、西原村役場の防災

担当の倉田様より平成28

年度の熊本地震の時の取

組について役場の立場か

らご講演をいただきました

た。第2部の県ボランテ

ィアセンターの吉田様よ

り、防災意識を高めるゲー

ムを実施していただき、参

加者のみなさんから、「講

座を受けることによつて

何かが起こった時に考え

るのではなく、日頃の近所

づきあいが大切だと思ひ

ました。」「防災炎に対して

意識が高まりました。」と

いう感想が聞かれました。

みなさん、ありがとう

ございました。



**災害ボランティアセンター設置訓練は、  
11月25日(日)8時30分からです。  
みなさんの参加をよろしく願ひします。**

# 〈事業報告〉

## 1 法人運営事業

- ・理事会、評議員会の開催、監査の実施

## 2 地域福祉活動事業の推進

- ・小地域見守りネットワーク
- ・地域交流事業
- ・福祉スポーツ大会の開催
- ※台風のため中止
- ・紙オムツ配布事業
- ・福祉用具貸与事業
- ・行路人旅費貸付事業
- ・初盆回向
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ、その他団体との連携

## 3 ボランティア活動の推進

- ・ボランティア協力校（2校、3園）

## 4 共同募金運動の推進協力

- ・赤い羽根運動月間10月
- ・歳末義援金募集12月
- ・歳末たすけあい運動事業
- ・歳末義援金の配布
- ・お節料理配布事業

## 5 福祉団体の活動支援

## (6 団体)

- ・社会を明るくする運動
- ・県英霊顕彰会
- ・配分金事業
- ・（共同募金、日赤事業）

## 6 調査等の実施

## 7 低所得者対策事業

- ・生活福祉資金貸付事業
- ・福祉金庫貸付事業
- ・地域福祉権利擁護事業
- ・生活困窮者等支援事業

## 8 広報、啓発活動の推進

- ・広報誌「社協だより」の発行、ホームページの開設

## 9 見守り活動支援事業

- ・地域座談会、地域ニーズの把握、サロン、公民館開放、見守り活動支援、ボランティアネットワークの構築

## 10 水俣病発生地域リハビリテーション強化等支援事業

## 11 訪問介護事業等の推進

## 12 津奈木町地域包括支援センター事業の推進

### 平成29年度 事業報告・決算

(単位：円)

勘定科目		決算額
事業活動による収入	会費収入 (一般会費、賛助会費、法人会費)	565,100
	寄附金収入 (香典返し、一般寄附)	1,715,552
	経常経費補助金収入 (町、共同募金配分金)	11,659,719
	受託金収入 (県、町、県社協受託)	25,871,134
	貸付事業収入	286,000
	事業収入	52,800
	介護保険事業収入	15,470,834
	受取利息配当金収入	15,219
	その他の収入	26,460
	<b>事業活動収入計(1)</b>	<b>55,662,818</b>
事業活動による支出	人件費支出	39,726,243
	事業費支出	8,260,162
	事務費支出	2,149,684
	貸付事業支出	286,000
	共同募金配分金事業費	1,288,529
	助成金支出	617,440
	負担金支出	77,130
	<b>事業活動支出計(2)</b>	<b>52,405,188</b>
<b>事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)</b>	<b>3,257,630</b>	

勘定科目		決算額
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
施設整備等支出計(5)	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	

その他の活動による収支		決算額
収入	その他の活動による収入	122,175
	その他の活動収入計(7)	122,175
支出	その他の活動による支出	1,070,843
	その他の活動支出計(8)	1,070,843
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 948,668	

予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,308,962

前期末支払資金残高(12)	31,816,494
当期末支払資金残高(11)+(12)	34,125,456

合計		決算額
収入合計	(1)+(4)+(7)+(12)	87,601,487
支出合計	(2)+(5)+(8)+(10)	55,784,993
収支差額	= 当期末支払資金残高(11)+(12)	34,125,456